

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 こぐま保育園

評価実施期間 平成19年3月1日～19年6月6日

1 評価機関

| | |
|-----|--|
| 名称 | (株) コスモブレイン |
| 所在地 | 〒690-0015 島根県松江市上乃木7丁目9-16 (0852)27-7830 fax(0852)27-7871 |

2 事業者情報

【平成19年2月1日現在】

| | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 事業所名称：こぐま保育園 | サービス種別：保育所 |
| 開設年月日：昭和49年4月1日 | 管理者氏名 山下 美智子 |
| 設置主体：社会福祉法人大社福祉会 | 代表者 職・氏名 理事長 上野 良亮 |
| 経営主体：社会福祉法人大社福祉会 | 代表者 職・氏名 理事長 上野 良亮 |
| 所在地：〒699-0722 出雲市大社町北荒木561-6 | |
| 連絡先電話番号： 0853(53)1123 | FAX番号： 0853(53)1123 |
| ホームページアドレス | e-mail:koguma@kbn.biglobe.ne.jp |

| |
|---|
| 基本理念・運営方針 |
| 基本理念 ひとりひとりを見つめる保育 保育方針 健康で心豊かな子どもを育む よく食べ よく寝 よく遊ぶ子どもを育む 土・水・太陽に親しみ、水遊び、泥んこ遊びを大切にしています。 四季を通して散歩に出かけ、自然の中で思いっきり遊びます。 リズム運動を通し、全身の発達を促します。 バランスのとれた食事をします。 伝統芸能、映画、音楽、演劇などを鑑賞することにより、文化的な保育の中で過ごします。 地域の行事への参加、お年寄り、異年齢児たちとの交流を通し、地域に根ざした保育をしています。 本の語り聞かせ、読み聞かせを通して良い本に親しんでいます。 |

【利用者の状況】

(平成19年2月1日現在)

| | 入所定員 | 利用者数 | | 入所定員 | 利用者数 |
|-----|------|------|--------|------|------|
| 総数 | 名 | 187名 | 障害児保育 | -名 | 2名 |
| 0歳児 | 名 | 27名 | 産休明け保育 | -名 | -名 |
| 1歳児 | 名 | 31名 | 延長保育 | -名 | 15名 |
| 2歳児 | 名 | 32名 | 夜間保育 | -名 | -名 |
| 3歳児 | 名 | 34名 | 休日保育 | -名 | -名 |
| 4歳児 | 名 | 31名 | 一時保育 | 10名 | 名 |
| 5歳児 | 名 | 32名 | 病後児保育 | -名 | -名 |
| 6歳児 | 名 | 0名 | その他 | -名 | -名 |

延長保育および一時保育の利用者数は1日あたり

【職員の状況】

(平成19年2月1日現在)

| 職種 | 勤務区分 | | | | 常勤換算 | 基準職員数 | |
|-------------------|------|----|-------|----|-------------|-------|----|
| | 常勤 | | 非常勤 | | | | |
| | 専従 | 兼務 | 専従 | 兼務 | | | |
| 管理者 | 1名 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 名 | |
| 保育士 | 22名 | 名 | 10名 | 名 | 28.0名 | 22.0名 | |
| 看護師 | 1名 | 名 | 名 | 名 | 1名 | 名 | |
| 栄養士 | 2名 | 名 | 名 | 名 | 2.0名 | 名 | |
| 調理師 | 1名 | 名 | 2名 | 名 | 2.0名 | 名 | |
| 事務員 | 2名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | |
| 前年度の採用・退職の状況 | | | 採用 | 常勤 | 1名 | 非常勤 | 0名 |
| | | | 退職 | 常勤 | 1名 | 非常勤 | 0名 |
| 常勤職員の平均勤務年数 | | | 14年 | | 当施設での通産勤続年数 | | |
| 直接保育にあたる職員の平均勤務年数 | | | 13年 | | | | |
| 常勤職員の平均年齢 | | | 41.0歳 | | | | |
| 直接保育にあたる職員の平均年齢 | | | 41.0歳 | | | | |

3 評価の総評

特に評価の高い点

昭和49年の開設以来、30年以上の歩みを重ねてきた当保育園は、親子二代の“こぐまファン”も多く、独自の保育理念に裏付けられた保育実践に対して、保護者から厚い信頼が寄せられていることが、「利用者意向調査」からも見て取れます。

当保育園では、「ひとりひとりを見つめる保育」という保育目標のもとに、個別の園児の保育と成長の過程を克明に記録したファイルが作成され、全職員が情報を共有しながら、保育実践にあたっています。

入所定員150名（一時保育を含む実際の利用者数約200名）の大規模保育所でありながら、このファイルをもとに、ひとりひとりの発達に心を配り、早い時期に課題を察知し、その克服をサポートするきめ細かな保育が行われていることについては、現場のスタッフの熱意と努力を高く評価できます。

また、その背景には、ベテラン保育士を主体とした基準を上回る厚い職員配置、職員会議を通じた綿密な点検、管理者の適切な指導など、充実した保育体制が築かれていることも見落とせません。

型にとらわれず、地域の中で伸び伸びと子どもたちを育てようとしている保育方針も、保護者の強い共感を呼んでいます。

泥んこ遊びや水遊び、絵本の読み聞かせ、リズム体操、年長児の朝の自主登園（集団登園）、天気の良い日の園外活動など、さまざまな保育の場面を通じて、園児たちの生き生きとした表情がとても印象的でした。

そこには、保育スタッフだけではなく、地域の人々に愛情深く見守られながら、日々、子どもたちが元気に成長を続けていく様子が見て取れます。

子育てをめぐる悩みなどを保護者と共有しながら、その克服に向けて、積極的な支援を行っていることも当保育園の特質です。

懇談会や個別面談を通じて、保護者と意思の疎通を図りながら、助言・相談など、行き届いたサポートが行われているほか、当園の自主事業として、保育の専門家を講師として招いて定期的開催されている子育て講演会には、毎回、多数の保護者が参加しています。

当保育園では、園児の食育にも大きな力が注がれています。

「利用者意向調査」でも、当園の給食内容には非常に高い評価が寄せられていますが、献立の工夫や園児の喫食状況を見ても、担当者の並々ならぬ努力がうかがえます。

以上のように、当保育園では総じて非常に高いレベルの保育が実践されており、園長以下スタッフの日々の努力に深い感銘を覚えました。

改善を求められる点

現在、中・長期的な展望に立った事業計画は策定されていません。

現場のスタッフの日頃の活動に方向性を与え、組織全体の集中力を向上させていくには、関係者の意見を集約しながら、中・長期的な将来像を描いていくことはやはり必要です。また、少子化の進展など事業環境が大きく変化する中で安定した経営を続けていくためには、数値に裏付けされた具体的な改善目標を掲げていくことが望まれます。

保育士が自らの信念にもとづいた保育実践を行うことは、決して悪いことではありません。

ただし、組織としては、定期的な点検・評価を通じて、それが独善的に偏しないように適切な注意を与えるとともに、是正を求めていく仕組みをつくる必要があります。

安全管理・事故防止については、日常的な点検は行われていますが、リスクマネジメント委員会の設置など、組織的な体制の強化と、ヒヤリ・ハット事例集の作成など、事前対策の充実が必要と思われます。

園舎本体や園庭は、基準を上回る広さとなっていますが、乳児保育棟や調理室などは、機能の面でやや手狭となっています。

築後30年以上を経過した園舎の改修もあわせて、今後の大きな課題と言えます。

当保育園の各種の規程の中には、時代の流れに沿って見直し求められるものがあります。

特に、園児のプライバシーの保護を含めた個人情報保護規程については、修正が必要です。

そのほか、内容に一部不備のあるものも見受けられました。

第三者評価にあたって、つねに判断に苦しむのが「 - 2 - (2) / 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している」という評価項目です。

この項目の意図するところは、提供されるサービスの質が職員によって異なることなく、一定の水準を保つためのマニュアルを備えることにあります。

しかし、統一したサービスの方法や手順が要求される医療や介護の現場と異なり、柔軟な創造性が必要な保育の現場に、標準的なサービス実施方法について文書化されたマニュアルを求めることの意味には、大きな疑問を覚えます。

ただ、評価基準というモノサシを当てはめれば、マニュアルが備えられていない当保育園では、首をかしげながらも「c」評価とせざるを得ませんでした。

この点については、評価基準の再考を求めたいと思います。

大項目別の評価の概要

[共通評価項目]

| |
|--|
| <p>- 1 理念・基本方針</p> <p>当園の保育理念、基本方針はパンフレット等で分かりやすく表現されています。 「利用者意向調査」を見ても、保護者に対して十分な説明が行われ、また理解、共感が得られていることが分かります。</p> |
| <p>- 2 計画の策定</p> <p>当園では、中・長期的な展望に立った事業展開の計画は策定されていません。 少子化の進展など全体的な事業環境の変化を見据えるとともに、園舎の改築など今後の課題に対応していくためにも、早期に基本方針・基本計画を定めることが望まれます。 年間事業計画は、保育計画にもとづいた具体的な内容となっており、ほぼ着実に実行されています。</p> |
| <p>- 3 経営者の責任とリーダーシップ</p> <p>豊富な経験を有する園長は、強い信念とリーダーシップを持って保育実践にあたっており、職員の望も篤く、業務の管理や職員への指導も行き届いています。 また、当保育園は、1法人1事業体となっていますが、保育現場を預かる管理者と事業経営を預かる理事者は分離されています。 それぞれが役割を分担しながら、さまざまな問題に適切に対処できるようになっていますが、今後とも保育の質を保ちながら、人事管理や財務の改善に取り組まれることを期待します。</p> |
| <p>- 1 経営状況の把握</p> <p>当園では、堅実で安定した経営が行われていますが、人件費比率はかなり高い水準にあります。 今後の大きな課題となっている園舎の改築等に対処していくためにも、中・長期的な事業収支の見通しに立った具体的な数値目標を持つことが必要と思われる。</p> |
| <p>- 2 人材の確保・育成</p> <p>当園では、職員の資質向上・能力開発のために、各種の研修・講習への参加、定期的なミーティングの開催など、積極的な取り組みが行われています。 研修・講習の受講後には、必ず復命書やレポートが提出され、その成果が全職員にフィードバックされる仕組みとなっています。 基準に沿った定期的な人事考課の実施や、職員の新旧交代も見すえた中・長期の人事計画の作成が今後の課題です。</p> |
| <p>- 3 安全管理</p> <p>安全管理・事故防止については、定期的な点検は着実に実行されていますが、組織としてのリスク・マネジメント体制は不十分です。 安全管理・事故防止を専門に所管する内部組織を立ち上げるとともに、ヒヤリ・ハット事例集の作成など、事前対策を強化していく必要があります。</p> |

- 4 地域との交流と連携

当園では、各種のネットワークを通じて、熱心に地域との交流・連携が図られています。毎年の恒例となっている高校生の体験学習、月3回の施設開放日に行われている子育て相談や離乳食相談、放課後児童クラブの併設など、地域の子育てニーズに応えて、積極的な取り組みが実施されています。

子育て講演会やバザーをはじめ、園が行うさまざまな催しには、保護者以外の住民も多く参加しています。

- 1 利用者本位の福祉サービス

当園では、日々の送迎時や懇談会などを通じて、保護者の意向を把握する機会が積極的に設けられています。

また、苦情・意見を受けとめ、これらをもとに、着実にサービス・業務の改善が図られていますが、マニュアル等には一部不備が見受けられます。

休日や夜間の集まりも多く、職員の熱意と努力は高く評価できますが、負担を感じている保護者に対しての配慮も求められます。

一部には、ベテラン保育士と若い保護者の育児に対する気持ちのずれをうかがわせる意見もあることから、定期的な利用者アンケート調査の実施などによって、保護者の率直な意向を探る工夫が望まれます。

- 2 サービスの質の確保

「ひとりひとりを見つめる保育」という保育目標のもとに、総じて大変高いレベルでの保育が実現されています。

サービスの実施状況については、職員会議で定期的に点検され、洗い出された課題、問題点の改善に向けて積極的な取り組みが行われています。

実施された保育サービスについては適切に記録・管理され、活用が図られています。

- 3 サービスの開始・継続

入園希望者への事前説明は丁寧に行われていることが、「利用者意向調査」からも見て取れます。

今後、より幅広い情報提供を行うために、ホームページの活用などを期待したいところです。

退園者はごく稀ですが、適切なフォローが行われています。

- 4 サービス実施計画の策定

園児ひとりひとりの状況が克明に記録されており、それにもとづいて、全職員が参加して、課題の設定、指導計画の作成が行われています。

その手厚い対応は、他の範とすべきレベルのものとなっています。

【付加基準】

A - 1 子どもの発達援助

当保育園の保育姿勢は、「利用者意向調査」でも高い評価を受けており、総体として高い水準の保育内容となっています。

特に、園児の成長の過程を、個別の保育記録に残した上で、ひとりひとりの発達課題を保護者とともに考えていくという保育実践が行われているということは、高く評価できます。

また、身近な自然や地域との関わりの中で園児たちの成長・発達を促すという考えに立って、活発に園外活動が行われており、それが園全体に活気を生み出しています。

園児たちの健康管理も、ほぼ適切に行われています。

乳児保育のスペースは、年度末には相当手狭となっていることから、より快適な環境に改善を図ることが必要と思われる。

園児の食育にも大きな力が注がれており、砂糖を用いず、昆布だしだけの味付けの離乳食や、誕生月の食べ物リクエスト、園児と保護者のクッキングなど、いたるところに食への関心を高めようとする工夫が見受けられます。

また、アレルギー、偏食、体調不良など、園児の状況に対応した調理を行うなど、行き届いた配慮がなされています。

布おもむつの使用など、園児の発育に必要な手間を惜しまず取り組んでいる姿勢にも、当園の特質がよくあらわれています。

A - 2 子育て支援

懇談会、園だより・クラスだより・保健だよりなどのお知らせの配布などを通じて、総じて保護者との意思の疎通は良好です。

個別面談や子育て相談など、保護者の悩みや要望を積極的に受けとめ、わかちあおうとする姿勢が共感と信頼を呼んでいます。しかし、「利用者意向調査」では特定の保育士の対応に不十分な点が指摘されています。

A - 3 安全・事故防止

安全管理・事故防止については、日常的な点検・訓練も含めて熱心に取り組まれています。しかし、体制としては不十分であり、早急にリスクマネジメントに関する職員組織を立ち上げるとともに、ヒヤリ・ハット事例を収集・整理していくことが望まれます。

感染症対策や衛生管理は、申し分のない状態です。

5 評価細目の第三者評価結果

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

| | 第三者評価結果 |
|---------------------------------|---------|
| - 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。 | |
| - 1 -(1)- 理念が明文化されている。 | a・b・c |
| - 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。 | a・b・c |
| - 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。 | |
| - 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。 | a・b・c |
| - 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | a・b・c |

- 2 計画の策定

| | 第三者評価結果 |
|------------------------------------|---------|
| - 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | |
| - 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。 | a・b・c |
| - 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 | 評価不能 |
| - 2 -(2) 計画が適切に策定されている。 | |
| - 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。 | a・b・c |
| - 2 -(2)- 計画が職員や利用者等に周知されている。 | a・b・c |

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

| | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| - 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。 | |
| - 3 -(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。 | a・b・c |
| - 3 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | a・b・c |
| - 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | |
| - 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | a・b・c |
| - 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | a・b・c |

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

| | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| - 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | |
| - 1 -(1)- 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | a・b・c |
| - 1 -(1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。 | a・b・c |
| - 1 -(1)- 外部監査が実施されている。 | a・b・c |

- 2 人材の確保・養成

| | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| - 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。 | |
| - 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 | a・b・c |
| - 2 -(1)- 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。 | a・b・c |
| - 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | |
| - 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | a・b・c |
| - 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。 | a・b・c |
| - 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | |
| - 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | a・b・c |
| - 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | a・b・c |
| - 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | a・b・c |
| - 2 -(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 | |
| - 2 -(4)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 | a・b・c |
| - 2 -(4)- 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | a・b・c |

- 3 安全管理

| | 第三者評価結果 |
|-------------------------------------|---------|
| - 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。 | |

| | |
|---|-----------|
| - 3 -(1)- 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | a ・ b ・ c |
| - 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。 | a ・ b ・ c |

- 4 地域との交流と連携

| | 第三者評価結果 |
|---|-----------|
| - 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | |
| - 4 -(1)- 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。 | |
| - 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2)- 関係機関等との連携が適切に行われている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。 | |
| - 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(3)- 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。 | a ・ b ・ c |

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

| | 第三者評価結果 |
|--|-----------|
| - 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | |
| - 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(2) 利用者満足の向上に努めている。 | |
| - 1 -(2)- 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(2)- 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | |
| - 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 | a ・ b ・ c |

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| - 1 -(3)- 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | a ・ b ・ c |

- 2 サービスの質の確保

| | 第三者評価結果 |
|--|-----------|
| - 2 -(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。 | |
| - 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。 | |
| - 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | 評価不能 |
| - 2 -(3) サービス実施の記録が適切に行われている。 | |
| - 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | a ・ b ・ c |

- 3 サービスの開始・継続

| | 第三者評価結果 |
|---|-----------|
| - 3 -(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | |
| - 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 | a ・ b ・ c |
| - 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | a ・ b ・ c |
| | 第三者評価結果 |
| - 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | |
| - 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。 | a ・ b ・ c |

- 4 サービス実施計画の策定

| | 第三者評価結果 |
|--------------------------------------|-----------|
| - 4 -(1) 利用者のアセスメントが行われている。 | |
| - 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。 | |
| - 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。 | a ・ b ・ c |

評価対象 A - 1 子どもの発達援助

| | 第三者評価結果 |
|---|-----------|
| 1 - (1) 発達援助の基本 | |
| A - 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。 | a ・ b ・ c |
| 1 - (2) 健康管理・食事 | |
| A - 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫している。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。 | a ・ b ・ c |

| | |
|--|-------|
| A-1-(2)- アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 | a・b・c |
| 1-(3) 保育環境 | |
| A-1-(3)- 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | a・b・c |
| A-1-(3)- 生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。 | a・b・c |
| 1-(4) 保育内容 | |
| A-1-(4)- 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 身近な自然や社会と関れるような取り組みがなされている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 子どもの人権に十分配慮すると共に、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 長時間にわたる保育の為の環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | a・b・c |
| A-1-(4)- 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | a・b・c |

評価対象 A - 2 子育て支援

| | |
|--|---------|
| | 第三者評価結果 |
| 2-(1) 入所児童の保護者の育児支援 | |
| A-2-(1)- 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。 | a・b・c |

| | |
|--|-------|
| A-2-(1)- 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が、必要に応じて記録されている。 | a・b・c |
| A-2-(1)- 子どもの発達や育児などについて、懇談会等の話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。 | a・b・c |
| A-2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。 | a・b・c |
| A-2-(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 | a・b・c |
| 2-(2) 一時保育 | |
| A-2-(1)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。 | a・b・c |

評価対象 A - 3 安全・事故防止

| | 第三者評価結果 |
|--|---------|
| 3-(1) 安全・事故防止 | |
| A-3-(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。 | a・b・c |
| A-3-(1)- 食中毒の発生時に対応出来るマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員に周知されている。 | a・b・c |
| A-3-(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 | a・b・c |
| A-2-(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 | a・b・c |
| A-2-(1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 | a・b・c |

6 利用者調査の結果(別紙)

| | 質問項目 | 回答 | 計 |
|-----|---|-----------|-------|
| 問1 | 保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか | はい | 1 2 3 |
| | | いいえ | 3 |
| | 【はいの場合】 | はい | 1 1 5 |
| | 保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか | なんともいえない | 7 |
| | | いいえ | 1 |
| | 【はいの場合】 | はい | 9 9 |
| | 実際に入所してみても、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか | なんともいえない | 1 2 |
| | | いいえ | 1 |
| 問2 | 保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか | はい | 9 0 |
| | | 時や人により違う | 3 6 |
| | | いいえ | 0 |
| 問3 | 「自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか | はい | 9 5 |
| | | 時や人により違う | 2 3 |
| | | いいえ | 4 |
| 問4 | 保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか | はい | 6 9 |
| | | いいえ | 4 7 |
| 問5 | 不満や要望を気軽に話したり、伝えたりすることができますか | はい | 6 6 |
| | | ことがらにより違う | 5 0 |
| | | いいえ | 1 0 |
| 問6 | お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか | はい | 9 5 |
| | | いいえ | 1 3 |
| 問7 | あなたが要望したことが他の職員にも伝わっていますか | はい | 5 0 |
| | | 分からない | 7 1 |
| | | いいえ | 3 |
| 問8 | 保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか(職員によって言うことやすることに違いがありませんか) | はい | 1 0 1 |
| | | 違う事がある | 2 5 |
| 問9 | 地域の子育て家庭(保育所に入所していない家庭も含めた)の子育て相談や交流会など、保育所の開放を積極的にしていると思いますか | はい | 1 0 2 |
| | | なんともいえない | 2 0 |
| | | いいえ | 3 |
| 問10 | 保育所の中でけがをしたことがありますか | はい | 7 9 |
| | | いいえ | 4 4 |
| | 【はいの場合】 | はい | 9 |
| | 保育士の適切な対応があれば避けることができたものですか | なんともいえない | 4 9 |
| | | いいえ | 1 9 |

| | | | |
|---------|--|-----------------------|---------------|
| 問1 1 | この項目は、過去1年以内に利用を始められた方にだけお伺いします | はい | 3 3 |
| | この保育所の内容について説明がありましたか | いいえ | 2 |
| | 【はいの場合】 その説明は分かりやすかったですか | はい | 3 2 |
| | 【はいの場合】 実際に入所してみても、説明どおりでしたか | はい なんともいえない いいえ | 2 8 4 0 |
| 問1 2 | 献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか | はい | 1 2 2 |
| | | 知らせがなく分からない | 3 |
| | | いいえ | 0 |
| 問1 3 | お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか | はい いいえ | 1 1 5 5 |
| 問1 4 | お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか | はい いいえ | 1 1 5 8 |
| 問1 5 | 園外では身近な自然や社会に接する機会が多いですか | はい いいえ | 1 2 4 0 |
| 問1 6 | お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。 | はい いいえ | 1 1 3 7 |
| 問1 7 | 異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか | はい いいえ | 1 2 0 4 |
| 問1 8 | お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか | はい いいえ | 1 1 3 1 2 |
| 問1 9 | 送迎時の対話や連絡帳その他の方法などで、日々のお子さんの様子を知る事が出来ますか | はい いいえ | 1 1 5 5 |
| 問2 0 | 子育てに関する気がかりな点や悩みについて相談しやすいですか | はい | 8 0 |
| | | 人により違う | 3 9 |
| | | いいえ | 4 |
| 問2 1 | 保護者が参加しやすいような行事日程が組まれていますか | はい | 8 0 |
| | | どちらともいえない | 3 7 |
| | | いいえ | 6 |

| | | | |
|---------|--------------------------------------|--------------------------|-----------------|
| 問2 2 | 登園時にお子さんの様子について把握・確認がありますか | はい いいえ | 1 1 2 7 |
| 問2 3 | インフルエンザなどの感染症が発生した時には、発生について説明がありますか | はい 知らせがなく分からない いいえ | 1 1 5 2 2 |

全て無回答だったものは、無回答欄にも計上せず

7 事業者の自己評価結果(別紙)

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

| | 自己評価結果 |
|---------------------------------|--------|
| - 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。 | |
| - 1 -(1)- 理念が明文化されている。 | a・b・c |
| - 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。 | a・b・c |
| - 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。 | |
| - 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。 | a・b・c |
| - 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | a・b・c |

- 2 計画の策定

| | 自己評価結果 |
|------------------------------------|--------|
| - 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | |
| - 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。 | a・b・c |
| - 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 | a・b・c |
| - 2 -(2) 計画が適切に策定されている。 | |
| - 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。 | a・b・c |
| - 2 -(2)- 計画が職員や利用者等に周知されている。 | a・b・c |

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

| | 自己評価結果 |
|-------------------------------------|--------|
| - 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。 | |
| - 3 -(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。 | a・b・c |
| - 3 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り | a・b・c |

| | |
|--|-----------|
| 組みを行っている。 | |
| - 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | |
| - 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | a ・ b ・ c |
| - 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | a ・ b ・ c |

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

| | |
|--|-----------|
| | 自己評価結果 |
| - 1 -(1) 経営環境の変化等に対応している。 | |
| - 1 -(1)- 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(1)- 外部監査が実施されている。 | a ・ b ・ c |

- 2 人材の確保・養成

| | |
|--|-----------|
| | 自己評価結果 |
| - 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。 | |
| - 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(1)- 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | |
| - 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | |
| - 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 | |

| | |
|---|-----------|
| - 2 -(4)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 | a ・ b ・ c |
| - 2 -(4)- 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | a ・ b ・ c |

- 3 安全管理

| | |
|---|-----------|
| | 自己評価結果 |
| - 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。 | |
| - 3 -(1)- 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | a ・ b ・ c |
| - 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。 | a ・ b ・ c |

- 4 地域との交流と連携

| | |
|---|-----------|
| | 自己評価結果 |
| - 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | |
| - 4 -(1)- 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。 | |
| - 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2)- 関係機関等との連携が適切に行われている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。 | |
| - 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(3)- 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。 | a ・ b ・ c |

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

| | |
|--|-----------|
| | 自己評価結果 |
| - 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | |
| - 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。 | a ・ b ・ c |
| - 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | a ・ b ・ c |

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| - 1 -(2) 利用者満足の上昇に努めている。 | |
| - 1 -(2)- 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。 | a · b · c |
| - 1 -(2)- 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。 | a · b · c |
| - 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | |
| - 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 | a · b · c |
| - 1 -(3)- 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | a · b · c |
| - 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | a · b · c |

- 2 サービスの質の確保

| | |
|--|-----------|
| | 自己評価結果 |
| - 2 -(1) 質の上昇に向けた取り組みが組織的に行われている。 | |
| - 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 | a · b · c |
| - 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。 | a · b · c |
| - 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。 | a · b · c |
| - 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。 | |
| - 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。 | a · b · c |
| - 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | a · b · c |
| - 2 -(3) サービス実施の記録が適切に行われている。 | |
| - 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。 | a · b · c |
| - 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | a · b · c |
| - 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | a · b · c |

- 3 サービスの開始・継続

| | |
|-------------------------------|--------|
| | 自己評価結果 |
| - 3 -(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | |

| | |
|---|-----------|
| - 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 | a ・ b ・ c |
| - 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | a ・ b ・ c |
| | 自己評価結果 |
| - 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | |
| - 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。 | a ・ b ・ c |

- 4 サービス実施計画の策定

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| | 自己評価結果 |
| - 4 -(1) 利用者のアセスメントが行われている。 | |
| - 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。 | |
| - 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。 | a ・ b ・ c |
| - 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。 | a ・ b ・ c |

評価対象 A - 1 子どもの発達援助

| | |
|---|-----------|
| | 自己評価結果 |
| 1 - (1) 発達援助の基本 | |
| A - 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。 | a ・ b ・ c |
| 1 - (2) 健康管理・食事 | |
| A - 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | a ・ b ・ c |
| A - 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。 | a ・ b ・ c |

| | | |
|-------------------|---|-------|
| A-1-(2)- | 食事を楽しむことができる工夫している。 | a・b・c |
| A-1-(2)- | 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。 | a・b・c |
| A-1-(2)- | 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。 | a・b・c |
| A-1-(2)- | アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 | a・b・c |
| 1-(3) 保育環境 | | |
| A-1-(3)- | 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | a・b・c |
| A-1-(3)- | 生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。 | a・b・c |
| 1-(4) 保育内容 | | |
| A-1-(4)- | 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 身近な自然や社会と関れるような取り組みがなされている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 子どもの人権に十分配慮すると共に、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 長時間にわたる保育の為の環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | a・b・c |
| A-1-(4)- | 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | a・b・c |

評価対象 A - 2 子育て支援

| | 自己評価結果 |
|---|-----------|
| 2 - (1) 入所児童の保護者の育児支援 | |
| A - 2 - (1) - 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。 | a ・ b ・ c |
| A - 2 - (1) - 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が、必要に応じて記録されている。 | a ・ b ・ c |
| A - 2 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会等の話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。 | a ・ b ・ c |
| A - 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。 | a ・ b ・ c |
| A - 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。 | a ・ b ・ c |
| 2 - (2) 一時保育 | |
| A - 2 - (1) - 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。 | a ・ b ・ c |

評価対象 A - 3 安全・事故防止

| | 自己評価結果 |
|---|-----------|
| 3 - (1) 安全・事故防止 | |
| A - 3 - (1) - 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。 | a ・ b ・ c |
| A - 3 - (1) - 食中毒の発生時に対応出来るマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員に周知されている。 | a ・ b ・ c |
| A - 3 - (1) - 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。 | a ・ b ・ c |
| A - 2 - (1) - 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 | a ・ b ・ c |
| A - 2 - (1) - 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 | a ・ b ・ c |

8 第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、福祉サービス第三者評価を受け、今ホッと胸をなでおろしているところです。自己評価、訪問調査が年度末と重なり、本当に忙しい毎日でした。

- ・ 利用者の意向調査より、保育の見直し、保護者との連携がとても大切であると思いました。アンケート回収率も高かったし、保育、食育への関心度も高く、とても心強く感じ、これからの子育て、子育てに大いにプラスになると思いました。
- ・ 自己評価は、運営、保育を見直す良い機会になりました。しっかりした、中、長期的な柱を考えていきたいと思えます。
- ・ 訪問調査の際、評価員の話にうなずけるものがあり(人生観) 第三者評価以外の収穫もありました。
- ・ 年令別保育の現場をしっかりと見ていただいたので、私たちが大事にしている保育、食育について高く評価して下さったことに、とても嬉しく思いました。
- ・ 第三者評価の結果を分析し、改善すべきところは改善し、こぐま保育園の保育目標である「ひとりひとりを見つめる保育」を保護者、職員、そして地域の人達と手をたずさえ、すすめていきたいと思えます。